小矢部川・大源寺護岸災害復旧 工 事 説 明 書

工事概要

事　業　名	小矢部川水系流域治水プロジェクト
工　事　名	小矢部川・大源寺護岸災害復旧工事
工　　期	全体工期： 令和6年3月2日から令和7年2月28日まで
	実 工 期 ： 令和6年6月3日から令和7年2月28日まで　（工事期間）
発 注 者 名	国土交通省　北陸地方整備局　富山河川国道事務所
受 注 者 名	砺波工業株式会社
連 絡 先	小矢部川・大源寺護岸災害復旧工事作業所　TEL 0766-50-9771
作 業 時 間	平日 8：00～17：00を基本とし、土・日曜日を休工する予定です。 尚、河川の出水対策による休日作業はご了承下さい。

工　事　内　容

【出水期（9月末迄）】

根固め工 根固めﾌﾞﾛｯｸ製作 （1t型 46個、2t型 368個、1.5t型12個、3t型 228個）

【非出水期（10月～工期末日まで）】

河川土工　1式、護岸基礎工　142m、護岸付属物工　1式、大型ブロック張工 2,188m^2

天端工　1式、平張工　1式、根固め工　根固めﾌﾞﾛｯｸ運搬・据付　1式、水制工　3箇所、仮設工　1式

事業内容及び効果

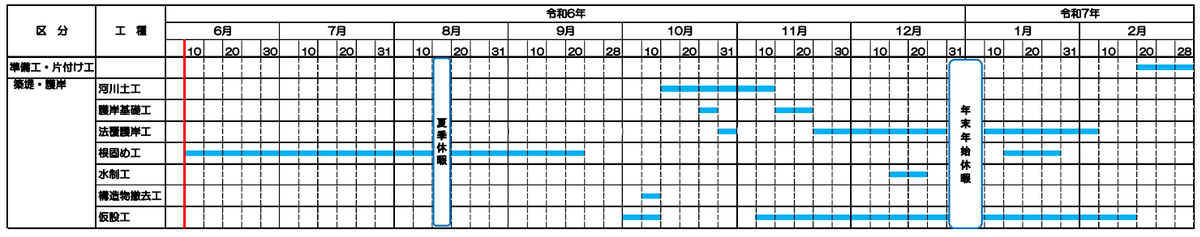
小矢部川流域は庄川扇状地の末端に位置していることから、流下型の氾濫形態であると共に、庄川の氾濫域と重複するため、氾濫発生時の水害リスクの高い地域です。

また、小矢部川は平野部を河道が大きく蛇行しながら流下するため、水衝部では侵食や洗掘など堤防が被災しやすい特性を有しています。そのため、浸透対策、堤防整備、護岸整備等の多岐にわたる取組が必要となります。

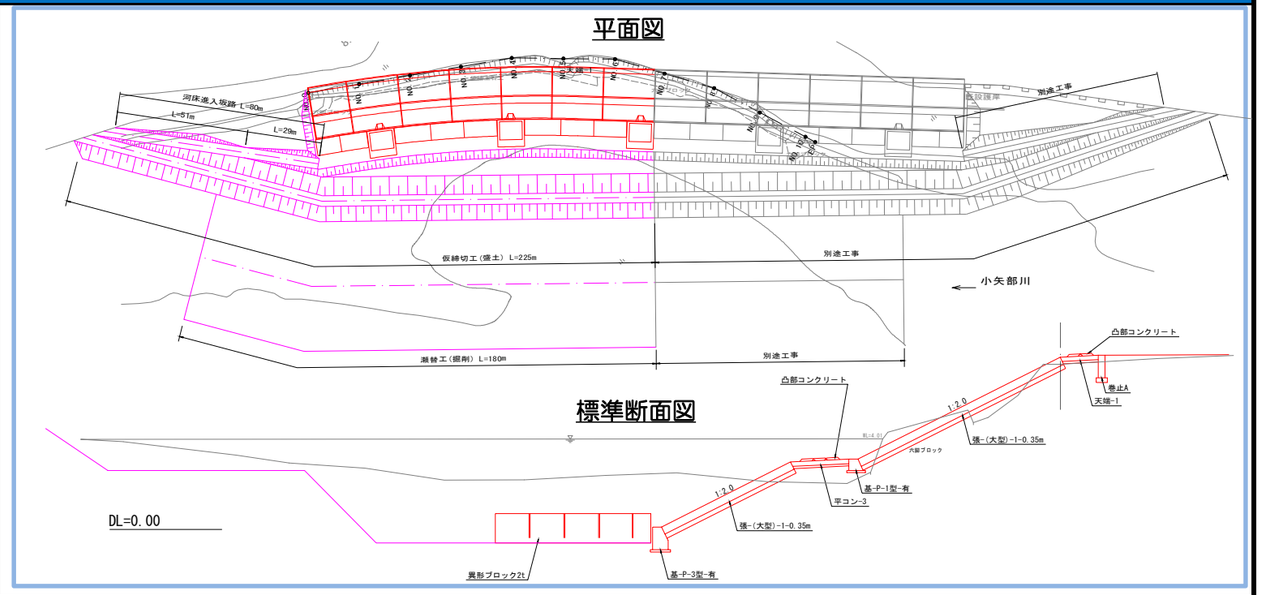
本工事では、高岡市の大源寺地先において小矢部川の影響による浸食等を受けた護岸の整備を行います。

現場位置図

計画工程表



工事図面



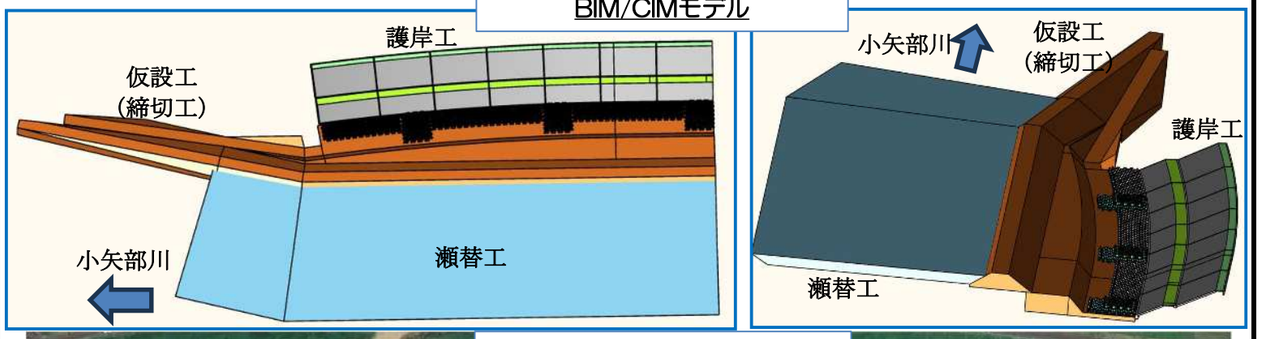
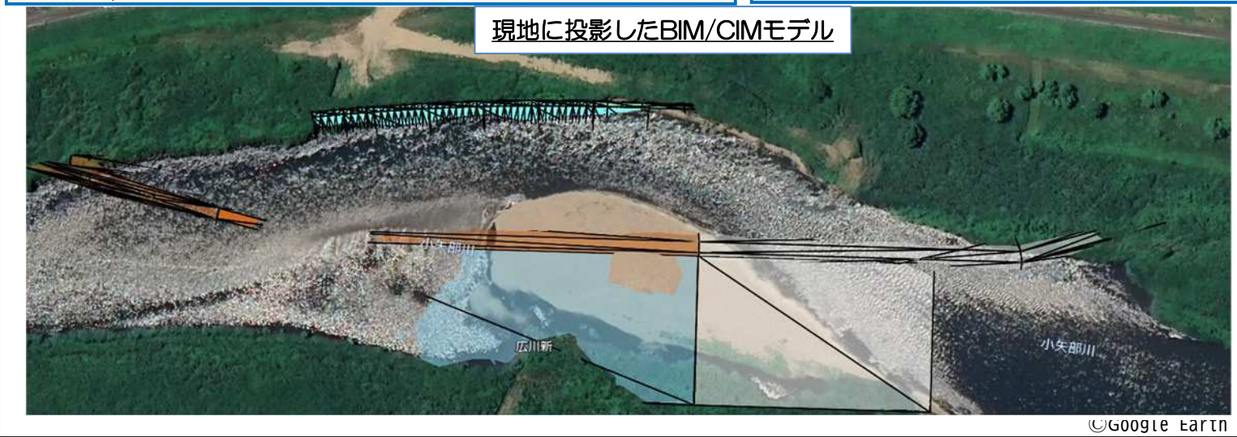
BIM/CIMモデル

・BIM/CIMとは・・・？

BIM/CIMとは（Building/Construction Information Modeling,Management）の略称のことであり、対象とする構造物等の形状を3次元で表現したもので、一般にBIM/CIMモデルと呼称します。

BIM/CIMは建設業に明るい未来をもたらす事を期待されており、従来と比較して生産性の向上が見込めるため、働き方改革や建設業の新３Kを目指し、取組が進んでいます。

BIM/CIMモデル



現地に投影したBIM/CIMモデル